

平成 25 年度事業報告について (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

当財団は事業内容を強化、発展させるため、「4 つの架け橋」を中心とした活動に特化するとともに、組織体制の強化を図ってまいりました。

以下 「4 つの架け橋」となる事業内容につき報告します。

1. 文化交流事業の推進

① ホーチミン市花祭りテト 2014 (1 月 28 日～2 月 3 日)

ベトナムでは毎年テト (ベトナム正月) 期間中にベトナムの一大行事である花祭りがホーチミン市の目抜き通りで開催されています。当財団は文化交流の一環として、2011 年の花祭りから毎年参加しています。

今年のテーマは「日本の近代的な街、景観」とし、全面生花でできている東京スカイツリーの後方にはレインボーブリッジ、高層ビル群を配し、日本の近代的な街並みを表現しました。

今年で 11 年目を迎えたグエン・フェ通り花祭りはさらに盛り上がり、期間中は会場に多くの人々が訪れ、展示作品の前で記念撮影をするなどし、地域の人々との交流を図ることができました。

② 日本映画上映

2013 年は日越外交関係樹立 40 周年を迎えるに際し、記念事業としてベトナム 3 都市 (ハノイ、ダナン、ホーチミン) で日本の古典相撲を描いた映画「渾身」を上映致しました。

各会場には日本、ベトナム各界から多くの皆様にお集まりいただきました。

ハノイ 10 月 7 日～ 9 日 1,500 名

ホーチミン 12 月 8 日～10 日 3,000 名

ダナン 12 月 11 日、12 日 1,500 名

映画「渾身」は、島根県の沖合にある隠岐島に古くから伝わる古典相撲を題材とし、この島の中で暮らす家族の姿を描いている。

20 年に一度開催されてきた古典相撲大会に最高位・正三役大関として土俵に上がることになった主人公は、土地の人々とのつながりの大切さ、家族の絆の大切さを様々な体験を通して気付いていくことになる。隠岐の美しい自然の中でそれらの体験を通して家族が強く結ばれていく様子は、見る者の心に多くの感動を呼び起こしたのであろう。

上映された映画館ではどこでも多くの拍手がおくられていた。

ベトナム政府文化スポーツ観光省、在ベトナム日本大使館・総領事館はじめ関係各位のご協力を賜りまして、成功裏に終えることが出来ました

また、ダナン会場に於いてダナンがん病院への支援として 1 億ドンの寄付金の目録の贈呈式を行いました。

2. 教育事業の支援

① ハノイ日本語センター支援

当財団では、約 10 年前よりハノイ日本語センターへの日本語教師の派遣（現在 3 名派遣中）、カリキュラム作成などの多面的な支援をおこない、ベトナムでの日本語教育の草分け的な存在として、日本語教育の推進に貢献してまいりました。

昨年までは主に初級、中級クラスを中心に日本語授業の実施を支援していましたが、本年は上級クラスを受け持つとともに、日本語能力試験コース及びビジネスコースを新たに設けています。

今後さらに、教育環境並びに教材の整備等、質の高い日本語教育を実施できるよう支援していきます。

② 留学生向け合同企業説明会

教育事業の一環として、5 月には外国人留学生対象の合同企業説明会を共催致しました。また、6 月に開催の合同企業説明会（主催：東京商工会議所）に協力企業として参加しました。各々 300 名を越す留学生の参加があり盛況に終了しました。

今後も合同企業説明会を開催し留学生の就職活動を支援していきます。

③ 高校のベトナム研修旅行支援

渋谷教育学園高等学校では、毎年 1 年生を対象にベトナム研修を実施しています。

本年の研修も昨年と同様にハノイ郊外での社会見学と同年代のベトナムの学生との交流を図ることを目的に企画されたものです。

同学園より現地で生徒さんと一緒に行動して頂ける日本語が話せるベトナム人学生の紹介依頼があり、当財団が支援しているハノイ日本語センターの卒業生 6 名を選出し、同行しました。

また、研修に先立ち同学園に於いて、当財団よりベトナム語を中心とした授業に加え、ベトナムの歴史や文化の紹介などを中心に講義を行いました。

3. 医療、人材育成事業の推進

① ダナンがん病院支援

中央ベトナムにはがん病院がなく、患者の 95% が亡くなっている。このような状況下、ダナン市で初めてのがん病院を設立するプロジェクトを支援すべく、平成 22 年より寄付金や医療器具の寄付を行ってきました。昨年は 1 億 5000 万ドンの寄付を行うとともに医療用ベッド 70 台を寄付しましたが、今年度も 1 億ドンの目録贈呈を行いました。

今後も引き続き支援を行い、友好関係の深耕を図っていきます。

4. 経済交流事業の推進

① 経済セミナー開催

日本とベトナムの経済交流の一環として、参加費無料の経済セミナーを企画し、ベトナム情報に関する各種セミナーを4回開催しました。

各回とも盛況で講演後も講演者及び参加者間で個別に交流がなされ、ベトナムに向けた関心と意識が高かったことが伺えるセミナーとなった。

1) 第12回セミナー（2013年4月18日）

講演：「ベトナムも汚水処理産業の現状」

元三菱ガス化学株式会社新潟研究所長 ズオン・ヴァン・クア 氏

2) 第13回セミナー（2013年5月15日）

講演：「日本での中小企業経営の実践」

ツバキ山久チェーン株式会社代表取締役社長 加藤 福和 氏

3) 第14回セミナー（2013年6月26日）

講演：「ベトナム食品の特徴と安全」

元キューピー醸造株式会社研究所長 高橋 鍛 氏

4) 第15回セミナー（2013年10月11日）

講演：「ベトナムダナンの魅力」

ダナン市投資局長 ラム・クア・ミン 氏

5. 広報活動の強化

広報活動の一環として新コンテンツとして追加した「ベトナム人によるお国紹介」（ベトナム各地の歴史、文化、観光、食文化等を紹介）の内容を充実させ、ベトナム全国58省・5中央直轄都市を網羅しています。今後も紹介記事を追加していきます。

また、ベトナム人スタッフによるベトナムに関する最新の情報や歴史豆知識を取りまとめた「JVCA」便りも毎月配信し、好評を得ています。

6. 新法人への移行

当財団では公益法人制度改革により、財団法人から一般財団法人への移行に向け、法令に従い所要の手続きを進めてまいりましたが、平成26年3月20日付で内閣総理大臣の認可を受け、平成26年4月1日に一般財団法人日本・ベトナム文化交流協会の設立登記を行いました。

平成 25 年度の主な取り組み

2013年	4月	第12回経済セミナー開催
	4月	第1回評議員選定委員会開催
	5月	外国人留学生向け合同企業説明会共催
	5月	第13回経済セミナー開催
	6月	平成25年度第1回理事会、評議員会開催
	6月	第14回経済セミナー開催
	6月	一般財団法人への移行認可申請
	7月	外国人留学生向け合同企業説明会開催（東商主催）に参加
	10月	内閣府公益認定委員会で認可決定
	10月	第15回経済セミナー開催
	12月	渋谷教育学園ベトナム研修旅行への支援、協力
	12月	ダナンがん病院へ1億ドンの目録贈呈
2014年	2月	ホーチミン市花祭りテト2014に出展